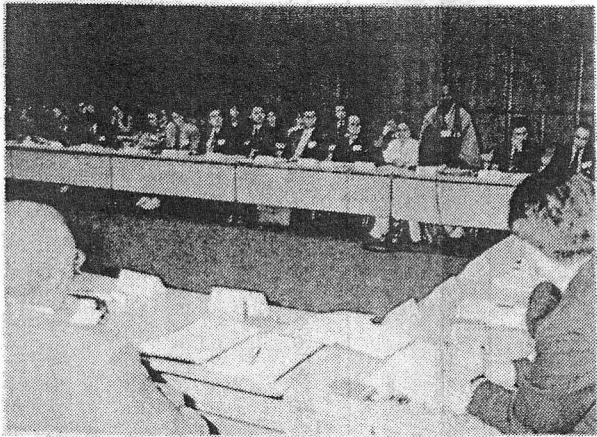


「宗教ネット」設立

岡山NGOサミット 救援の円滑化狙う

宗教を中心テーマに岡山・回廊おかやま国際貢献NGOなどで開かれている第三〇サミット（国際貢献トピ



ア岡山構想を推進する会トピアの会）主催）二日目の二十四日、国内外の宗教

NGO二十二団体が参加して災害時の緊急救援や開発援助などに協力する「宗教NGOネットワーク」の設立を決議、発足させた。

同ネットワークは、災害・紛争などで悲惨な状況にある世界各地で、相互扶助の精神で人道援助などをサポート、参加宗教NGO間で宗教、民族など各国固有の事情について情報交換することによって、救援活動をスムーズに行うのが狙

宗教NGOネットワークの設立を決議した人道援助宗教NGO会議岡山国際交流センター

い。トピアの会（谷口澄夫会長、岡山市）下部組織の人道援助宗教委員会が事務局の役割を担い、アジア医師連絡協議会（AMDA、岡山市）などと連携し、災害時の緊急救援や技術指導などによる産業、農業などの開発援助に協力する。

二日目は岡山市春暹町の岡山国際交流センターで「人道援助宗教NGO会議」を開催。仏教、神道、キリスト教など国内宗教NGO十一団体とマレーシア、フィリピン、インド、スリランカ、カンボジアなどの仏教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教などの海外宗教NGO十一団体が参加した。

ネットワーク設立に關しては、「相手国と宗教摩擦が発生する恐れがある」組織の設立の前に、NGO活動のための研究所をつくるべきだ、「ネットワークで何ができるのか」などの白熱した議論が繰り広げられた。